



## 令和4年度（2022年度）大気測定結果を公表します

市内の大気汚染状況は、二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質及びダイオキシン類について、全測定局で環境基準に適合しました。しかし、光化学オキシダントについては、全測定局で環境基準に適合することができませんでした。

測定項目別の状況は、次のとおりです。

### ■二酸化硫黄（SO<sub>2</sub>）

市内5測定局の年平均値は、0.001ppmでした。（表-1）

環境基準は平成13年度（2001年度）以降連続して、全測定局で適合しました。

### ■二酸化窒素（NO<sub>2</sub>）

市内6測定局の年平均値は、0.014ppmでした。（表-2）

環境基準は昭和53年度（1978年度）以降連続して、全測定局で適合しました。

### ■光化学オキシダント（OX）

4測定局の昼間（5時～20時）の年平均値は、0.030ppmでした。（表-3）

環境基準は、全測定局で適合しませんでした。

### ■浮遊粒子状物質（SPM）

市内7測定局の年平均値は、0.016mg/m<sup>3</sup>でした。（表-4）

環境基準は平成24年度（2012年度）以降連続して、全測定局で適合しました。

### ■降下ばいじん

市内10測定地点の年平均値は、3.30t/km<sup>2</sup>・月でした。（表-5）

降下ばいじんの環境基準はありません。

なお、加家公民館及び養父町公民館は移動測定局のため、市内平均に含みません。

### ■ダイオキシン類

市内2測定地点の年平均値は、0.033pg-TEQ/m<sup>3</sup>でした。（表-6）

環境基準は測定を開始した平成12年度（2000年度）以降連続して、全測定地点で適合しました。

問合せ	環境経済部生活環境課環境対策グループ 担当：中平（なかひら） 052-603-2211、0562-33-1111（内線554）
-----	---

表一 1 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>)

項目 測定局	令和4年度 (2022年度) 平均値 ppm	測定時間 時間	環境基準との対比		日平均値 の 2%除外 値 ppm	環境基準 の 適否 適○否●	令和3年度 (2021年度) 平均値 ppm
			1時間値 が0.1ppm を超えた 時間 時間	日平均値 が 0.04ppm を超えた 日 日			
名和小学校	0.001	8,631	0	0	0.003	○	0.002
市役所	0.001	8,579	0	0	0.004	○	0.001
富木島小学校	0.001	8,355	0	0	0.003	○	0.001
横須賀小学校	0.002	8,667	0	0	0.005	○	0.002
加木屋小学校	0.002	8,601	0	0	0.005	○	0.001
市内平均	0.001	—	—	—	—	—	0.001

表一 2 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>)

項目 測定局	令和4年度 (2022年度) 平均値 ppm	測定時間 時間	環境基準との対比		日平均値 の 年間98% 値 ppm	環境基準 の 適否 適○否●	令和3年度 (2021年度) 平均値 ppm
			日平均値 が 0.06ppm を超えた 日 日	日平均値 が 0.04ppm 以上 0.06ppm 以下の日 日			
名和小学校	0.012	8,631	0	0	0.028	○	0.012
上野公民館	0.014	8,673	0	1	0.029	○	0.014
市役所	0.012	8,578	0	0	0.026	○	0.011
横須賀小学校	0.015	8,674	0	0	0.028	○	0.015
加木屋小学校	0.013	8,601	0	1	0.027	○	0.013
名和町吹付	0.016	8,594	0	4	0.035	○	0.018
市内平均	0.014	—	—	—	—	—	0.014



表—5 降下ばいじん（平均値）

年度 測定点	令和4年度 (2022年度)	令和3年度 (2021年度)
	t / km <sup>2</sup> ・月	
一番畑保育園	3.03	3.18
名和児童館	2.28	2.72
名和町吹付	3.36	3.67
名和東児童館	2.36	2.56
上野中学校	2.65	2.95
ソラト太田川	3.58	4.47
文化センター	6.44	6.64
養父児童館・養父健康交流の家	3.63	4.42
横須賀中学校	3.37	3.42
三ツ池保育園	2.32	2.70
市内平均	3.30	3.68
加家公民館	3.74	4.34
養父町公民館	5.86	6.71

\* 加家公民館及び養父町公民館は移動測定局のため、市内平均には含まない。

表—6 ダイオキシン類

年度 測定点	令和4年度 (2022年度)	環境基準の適否	令和3年度 (2021年度)
	pg-TEQ/m <sup>3</sup>	適○否●	pg-TEQ/m <sup>3</sup>
名和小学校	0.028	○	0.017
文化センター			0.019
消防本部	0.038	○	
市内平均	0.033	—	0.018

\* 文化センター解体に伴い、令和3年度は文化センター、令和4年度は消防本部で計測している。

## 大気汚染に係る環境基準

項目 物質名	環境基準	評価方法
二酸化硫黄 ( S O <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。	1日平均値である測定値につき、測定値の高い方から2%の範囲内にあるものを除外した値が0.04ppm以下であること。ただし、1日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続しないこと。
二酸化窒素 ( N O <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。	年間における1日平均値のうち、低い方から98%に相当する値が0.06ppm以下であること。
光化学オキシダント ( O X )	1時間値が0.06ppm以下であること。	年間を通じて1時間値が0.06ppm以下であること。ただし、5時から20時までの昼間時間帯について評価する。
浮遊粒子状物質 ( S P M )	1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。	1日平均値である測定値につき、測定値の高い方から2%の範囲内にあるものを除外した値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であること。ただし、1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日が2日以上連続しないこと。
ダイオキシン類	年間平均値が0.6pg-TEQ/m <sup>3</sup> 以下であること。	